

図画工作科研究実践授業

下伊那大会研究テーマ

思いつながる広がる私の造形ネットワーク
～自分らしさを楽しむ授業へ～

図画工作科研究テーマ

思いを持ち、自分らしさを楽しむこどもたち

日時 令和2年11月13日 3校時

題材名 時空の扉をひらいて(絵画)

会場 6年1組教室

学級 3年 男子 13(1)名 女子 13名 計 26(1)名

授業者 北田 聡一郎 教諭

指導者 志摩 宏道 先生(長野県教育委員会学びの改革支援課指導主事)

I 題材設定の理由

6学年になり、これまでの図工で「ぼく・わたしの感情アルバム」「夢の翼を広げて」「お話から広がる世界」という3つの絵画題材に取り組んできた。

感情表現という抽象的な絵画表現である「ぼく・わたしの感情アルバム」「夢の翼を広げて」の2題材では、気持ちや夢を自分なりのどんな色や形で表すかを思考し、心を解放させて表現することを楽しむことができるようになってきた。

「お話から広がる世界」では、自分の描きたい場面の特に描きたいことを、友だちとの対話の中ではっきりとさせていき、それを表すための構成などを工夫しながら、お話に登場するキャラクターなどの具象表現を必要とする絵画表現を行った。自分の思いを持ち、絵の中にその思いを表すために工夫したことがひとつあるだけで、とても素敵な絵になることを実感し、「絵に表すことが楽しい!」「次の図工はいつやるの?」と担任に話す子どもたちの姿が目立つようになった。

そんな子どもたちに、これまで経験の少ない具象表現が必要になってくると考えられる「時空を超えた旅」という絵画表現の題材への挑戦を考えた。「行きたい場所」と「やりたいこと」という具象的になるであろうと考えられる表現に、感情や夢、気持ちなどを表す抽象表現、描きたいことを表すために工夫する構成など、これまでの造形活動を生かし表現することに満足できることを願い、本題材を設定した。

II 題材の目標と評価規準

1 題材名「時空の扉をひらいて」(絵に表す)

2 目標

行きたい場所や時間から表したいことを考え、表現方法を工夫して絵に表すことができる。

3 評価規準

【知識・技能】	【思考・判断・表現】	【主体的に学習に取り組む態度】
① 思いをより表現できるように描き方を工夫している。	② 行きたい場所や時間、そこでやりたいことを考え、表し方や構成を考えている。	③ 行きたい場所や時間から表したいことを考えようとしている。 ④ 友だちや自分の表現を味わい、たのしんでいる。

4 指導上の留意点

- (1) 前時行った相互鑑賞の作品とそこから出させた、思いや表現方法を掲示しておく。
- (2) これまでに行ったモダンテクニック、構成の工夫などの表現を掲示しておく。

5 展開の概要と評価計画(全7時間)

時間	○児童の活動	評価の観点
1	○時間と空間を自由に移動できたら、自分は「いつ」「どこへ」行って「何をしたい」を考え、思いをもつ。 ・描きたい場所や時間、したいことを学習カード①にラフスケッチや言葉でかく。 (学習カード①, タブレット, 図鑑等資料)	◇描きたいことを選び、絵に表すことに取り組みようとしている。 (学びに向かう力・人間性等)
	【総合的な学習の時間, 休みの日を使って】 ・思いを表すために必要な資料を用意する。 (本, 雑誌, パンフレット, インターネットを使って)	
2	○「月に行って、ウサギと餅つきをしたい」というテーマの6枚の絵で相互鑑賞を行い、それぞれの描きたいことや表現方法のよさを知り、自分の表現主題や表現方法を決める。 (クレヨン・コンテ・墨汁などの描画材, 学習カード②)	◇描きたいことを深め、それをより表現するための表現方法を考える。 (思考力・判断力・表現力)
3 本時	○表したいものを描くために、表現方法や表現の工夫をし、絵に表す。 ・イメージに合った着色を用紙に試しながら表す。 (印刷したりして集めた資料, 試しがきの紙・学習カード③)	◇思いをより表現するための表現方法を選んだり、表現の工夫をしたりしている。 (知識・理解・技能)
4 5 6		
7	○友だちと作品を見合い、感じたことや気づいたことを伝え合う。 ・自分の作品づくりを振り返り、描きたかった場面をどう描いたか、表したいものが表せたかについての感想を学習カードに書く。 (学習カード④)	◇友だちと作品を見合い、思いを表現した場面の形や色の造形的な特徴から、表現のよさを感じ取っている。 (思考力・判断力・表現力等)

6 本時案

(1) 主眼

相互鑑賞によって描きたいことに合わせて色々な表現方法や表し方があることを知り、どう表すか見通しを持った子どもたちが、学習カードをもとに描きたいものについて友だちと対話をしたり、表現する中で試行錯誤したりすることを通して、自分の思いを表現するための表現方法や構成を工夫して絵に表すことができる。

(2) 指導事項

A表現: 絵や立体, 工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たこと、伝えたいことから表したいことを見つけることや形や色、材料の特徴、構成の美しさなどの感じ、用途などを考えながらどのように主題を表すかについて考えること。

(3) 本時の位置(全7時間中第3時)

前時: 自分の描きたいことや表現方法を決め、活動の見通しをもった。

次時: より描きたい感じが出るように工夫しながら描きすすめる。

(4) 指導上の留意点

描きたいものの資料をタブレットや図鑑等で準備しておく。

(5) 準備品

児童: 学習カード, 描画用具, 描きたいものの資料

教師: タブレット, 本(図鑑), 画用紙

(6) 展開

段階	学習活動と予想される児童の姿	○教師の指導・評価	時間
導入	1 前時の振り返りを全体で行う。 「同じテーマなのに何でこんなに表現が違うんだっけ？」 ・描きたいことが違った。 ・考えていたストーリーが違った。 2 学習カードをもとに描きたいものについて友だちと対話し、描きたいことをはっきりとさせる。 「前の時間に自分が描きたいものとそれを何を使ってどう表すか考えてみたね。友だちに自分が描きたいものとどんなふうに描こうと思っているかを伝えて、やりたいことをはっきりさせよう。」 ・○○時代の○○へ行って、△△をしているところを、爽やかな感じにしたいので、鉛筆と絵の具で表したいと思っています。 ・○○の□□へ行って、●●と△△しているところを描きます。強くははっきりさせたいから、赤い画用紙に墨とクレヨンで描こうと思っています。 ・○○で▲▲をしているところを描きたくて、色の濃い画用紙を使おうと思っているので、クレヨンを使ったり、水を少なくした絵の具を使ったりしようと思います。 2 思いが表現できるように工夫して絵に表す。 【めあて】 自分の思いが表せるように、表現方法や構成を工夫して描こう。	○描きたいことが違えば、表現方法が違うこと。 ・配置や大きさ ・描画材 ・用紙の大きさや色、形 ・モダンテクニック ○一番描きたいものが何かをはっきりさせる。 ・自分が何を描きたいかを言葉にしたり、友だちに質問してもらったりすることで、より描きたいことをはっきりさせる。 ○描きたいことを表すために、どんな表現方法にするかを確認する。	10
追究	3 絵に表す。 ・自分目線で描くのも面白いかもしれないな。 ・こう表した方が、やりたいことが描ける気がする。 ・服装は○○、周りにはこんなものがあるといいなあ。 ・画用紙はこの色にしよう。大きさはこれだな。 ・クレヨンで描くと迫力を出せるかなあ。	○以下のような姿が見られたら、理由等を聴き、思いの表現につながる工夫であれば、認めて励ます。 ・学習カードに描いていないものを新たに見つけて描いている。 ・ラフスケッチから構成等が変化している。 ・描画材を複数用いている。 ・スパッタリング等、既習のモダンテクニックを用いている。 ・画用紙の色や大きさ、形を変えている。 ・動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさ等、高学年の表現の工夫の観点につながる工夫をしている。 自分の思いを表現するために表現方法や構成を工夫して絵に表している。	25

まとめ	4 本時の振り返りを学習カードに記入し、次時の表現の目標を立てる。 ・いい感じで進んでいるな。 ・どんな色や描き方をしたらいいか考えてみたい。	○めあてをもとに、振り返りができるようにする。 ○次にやりたいことを具体的に書くように指導する。	5
-----	---	--	---

(7) 授業で見えてきた点

- ①思いを持ち、それを表現するために表現方法や構成の工夫を楽しみながら追求し、描こうとする姿
- ②抽象表現で気持ちを開放させる表現を積み重ね、絵に表すことを楽しんでいる姿。

(8) 参考資料

①学習カード

※学習カードは以下のような観点で準備

学習カード①…「いつのどこに行き、どんなことをしたいか」が言葉やラフスケッチで表せる学習カード

学習カード②…「描きたいこと」とそれを表せるための「表現方法」を考え、決定できるようにする学習カード

学習カード③…「描きたいこと」を表現できるようにした表現の工夫を考え、それを振り返ることができる学習カード

学習カード④…表現活動全体を通して、自分の思いを表現の工夫によってより深く表現できたかを振り返り、表現活動に満足することができたかを振り返ることができる学習カード

②前時の相互鑑賞を行った作品

○あら！こんなところに時間と空間を移動できる扉が！さあ、その扉を開いて、「いつの どこへ 行って どんなことをしたいか」、言葉や絵を使って考えてみよう！

いつ？
どこで？
どんなことをしたい？

心の中にあるものを自由にかいてみよう。

振り返り

○描きたいことをしっかりと決め、それを表現するために、「何を使って どんな風に表すか」考えてみよう。

「いつの どこにいつて なんかことをしたい」

○一番描きたいことは？

○何を使って、どんな風に表す？

○アイディアスケッチ

振り返り

①相互鑑賞を行なった作品それぞれの思いと表現方法

No.	作 品	作者の思い	表現方法
1		ウサギたちは、お茶を一緒に楽しみたいくて、月に人が来てくれるのをついたお餅を準備してずっと待っていた。そしてついに来てくれた人をテーブルに案内しているところ。描きたかったメインは、左のテーブルのおもてなし。	・ 四つ切り画用紙（紺色） ・ 単色で使っているクレヨン ・ 少なめの水の絵の具 ・ スッパッターリング、点、十字や形など様々に描いた星 ・ 手を引いて案内しているウサギ ・ ウサギが指をさしているおもてなし
2		行った月は、今よりずっと昔、竹取物語の頃の月。そこへ現代から行った自分が一緒に餅つきをしている。自分は、「よいしょー！」と合いの手を入れる役をやりたい。後ろのウサギも一緒に「よいしょー！」と言っている。昔の感じを出したかったので、「鳥獣戯画」をモチーフにして、墨で和紙に描いてみた。月もぼんやりさせたかったので、和紙の裏に黄色い画用紙を貼って、透けるようにしてみた。地球も青と緑を貼ってみたが、あまり目立たなかった。かぐや姫も描こうかなと思ったが、余分な感じがしたので描かなかった。	・ 版画紙 ・ 墨汁（筆・筆ペン） ・ 画用紙（黄・緑・青） ・ 台紙（紺色） ・ 白黒（モノトーン） ・ 透過 ・ 有名作品を真似てある ・ 星を描いていない ・ 画面半分がほぼ黒 ・ あるはずのないスキを描く
3		地球から望遠鏡で月を見ると、ウサギが楽しそうに宇宙飛行士と餅つきをしている。本当は、たくさんのウサギが輪になって、その中心で餅つきをしているところを上から見た目線で描きたかったが描けなかった。月面着陸で印象的だった「宇宙飛行士の足跡」と「無重力だからお餅をつくと飛び上がっちゃう」というところを大切に描いた。	・ 画用紙（白） ・ 円い画面 ・ 墨 ・ 絵の具 ・ 筆ペン ・ クレヨン ・ 地球から望遠鏡で見ている第3者の目線 ・ 弾き効果 ・ 宇宙飛行士の足跡 ・ 無重力の餅つきで跳び上がっちゃう

4		宇宙で楽しく遊んでいるウサギたち。美しい宇宙が描きたくて、星やロケット、ブラックホールなどを描いた。 ウサギを白い画用紙に描いて切って貼ることにした。餅つきを上手に入れられなくなってしまったので、描きなおしをしている。	・画用紙（紺色） ・クレヨン（重色） ・画面を斜めに2分割 ・ウサギはカラージュ
5			
6			